



## どう話す?

両親は自分たちの胎児が普通に発育しているかどうか、たいへん気にしています。そして超音波検査であれだけきれいに見えているのだから、胎児の体重くらいはきちりとわかっているものだと思っています。さてそういうときに、「今日は2875gでしたよ」と伝えるのと「2500gは超えたようですね」と答えるのではどちらが正しいでしょう。あるいは「赤ちゃんの発育には問題ないですよ」というのもよいでしょうね。計測した人にもよりますが推定体重には最低でも10%くらいの誤差があるのは当然です。それに1週間後に計測した推定体重が2855gだったらお母さんにどう伝えますか？

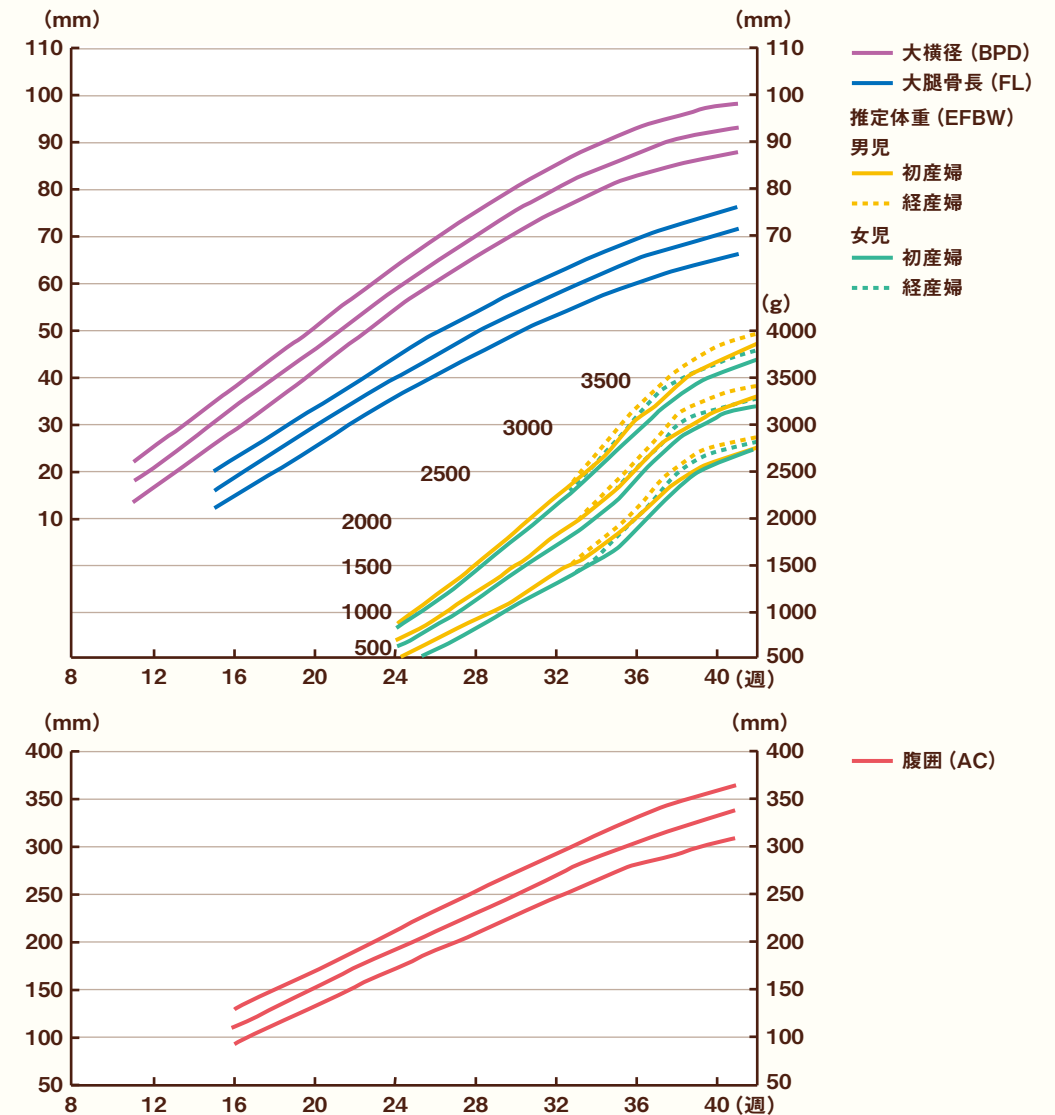


図6.3 胎児発育曲線 (長崎大学)  
大横径 (BPD)、大腿骨長 (FL)、腹囲 (AC) および推定体重をプロットして、経時的な胎児発育を評価します。

## どう使う?

先に述べたように、胎児の体重を正確に知ることは難しいことです。大事なことは胎児の推定体重ではなくて、胎児が平均より大きすぎたり小さすぎたりしていないかをチェックすることです。大横径 (BPD) と腹囲 (AC) と大腿骨長 (FL) を標準発育曲線上にプロットして、それぞれが標準内にあれば胎児の発育は正常と考えてよいのです (図6.3)。ただしどれかが正常発育からはずれているときは、その理由を考えながらもう一度計測をやり直すくらいの慎重さはぜひ持ってください。